

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



1・2月開催予定の講座案内

155回 題名 マザコン將軍 徳川綱吉

日時 平成29年1月12日(木) 14:30から約1時間

講師 吉田 豊 氏(古文書インストラクター、江戸文化研究者)

内容 五代將軍綱吉は、幼時から学問(儒学)に励み、將軍就任後は幕閣や大名相手に頻りに儒学の講義を行っています。その一方で母親離れの出来ない小男という一面もありました。母の桂昌院が前代未聞の従一位に叙せられたのは「孝経」の教えに発すると察しますが、その実現運動中に関連して赤穂事件(忠臣蔵)が起きたと考えられます。赤穂事件の発生原因を新たな切り口から考えます。



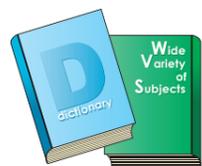
156回 題名 死生学の話～“理想的な死”とは? 日時 平成29年2月9日(木) 14:30から約1時間

講師 山本 思外里 氏(老年学研究家、東京都民間カルチャー事業協会顧問)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年2月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は2月9日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1072回	2月2日(木) 14:00から	台所と物理	大井 みさほ 氏 (東京学芸大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1073回 ※	2月9日(木) 14:30から	死生学の話～“理想的な死”とは?	山本 思外里 氏 (老年学研究家、 東京都民間カルチャー事業協会顧問)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1074回	2月16日(木) 14:00から	植物の学名を読み解く ～リンネの“二名法”	田中 学 氏 (元東京都立高等学校教諭)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1075回	2月23日(木) 14:00から	忠臣蔵と仮名手本忠臣蔵	上村 いわお 氏 (演劇評論家)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1073回は、第156回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第108回

隠れているものが見えるかも ～祭や伝統的行事の“見える化”の試み～

【講師】 須知 まきのり 氏

小金井雑学大学理事、歴史古街道団事務局
長、武蔵野万葉会会員、古今の会会員。暦、和歌、古代史等を趣味として勉強しています。

【内容】 多摩地域で継承されている行事を通して、その由来や意義を探ります。

具体的には、稲城の「三匹獅子舞」を例に、その行事が実施される時期を「和暦」(太陰太陽暦、旧暦)に基づいて把握し、実施場所、登場人物は誰か? 使用される道具等は何か? どのような姿形で、またどのような色や数等で表現されているか? をご参加の皆さんと一緒に整理します。これらに基づいて、「なぜか?」を推理して、行事の意義を明らかにしてみたいと思っています。



日時 平成29年1月22日(日) 14:00～16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階
(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- あけましておめでとうございます。
昨年、6月に英国の国民投票によるEU離脱決定、11月の米国大統領選挙でのトランプ氏勝利という世界を揺るがす出来事がありました。世界はこれから何が起こるのか予測のつかない、混迷の時代に突入しました。
- この二つの出来事に共通するのは、民意で決められたという点です。また、他者との協調よりも、自らの主張に基づき行動する「自国主義」の理念を支持するサイレントマジョリティの意思表示の結果である点も酷似しています。
- どちらの出来事も社会の変革に伴う痛みに対して、否定的に考える層を強くキャッチアップして成立しました。しかし、今や世界は、他者と協調しなければ国レベルでさえ維持できなくなっています。閉じた内向きの選択は、さらなる経済的窮地に陥る道であることを、専門家が論理的に試算し指摘しています。にもかかわらず、多くの人々が「今よりは良くしてほしい」というリーダーへの期待と希望的観測による選択を行った結果が、先の出来事であるとメディアは分析しています。
選ばれた指導者には、責任を持ってより良い方向を見出してもらいたいものです。
- 地方自治体は、このような激動の社会経済情勢のなかで、住民の福祉向上のために間違いのない道を進まなければなりません。特に、人口減少(少子・高齢)社会への対応は、もはや小手先では解決できず、根本的解決のためには地域社会の変革を伴う行動が必要になっています。自らの地域や個人的利益のみを考えるのでは解決は望めません。広域的・全体的な視点から俯瞰し、連携して行う対策こそが実効性を伴うものとなります。
- 東京ではオリンピックが3年余と目前に迫り、夏には都議会議員選挙も予定されています。地域の自立を目指す、先を見通した決定には、地域住民の理性的で勇気ある選択と協力が必要不可欠です。
- 未来に向けて一人ひとりがよく考え、持続可能なより良い地域社会をつくるために、待たなしの選択をする機会が目白押しとなりそうです。
今年も、当調査会は道標となる調査研究や先駆的な市民活動の支援などを通じて、多摩・島しょ地域の明るい未来づくりに資する活動を行ってまいります。
本年もどうぞよろしく願います。
(M.N.)

